

## ④ 地域と一体となった環境保全活動、環境教育などを通じた環境意識の啓発

CSR  
重要課題

生物多様性の保全



「人と自然と、つくるみらい」をスローガンとして、自然環境の保全や環境教育等に取り組むことで、九州の豊かな自然を未来につなぎます。

### ●環境保全活動

九電グループでは、NPOや地域の方々と協力して地域の課題解決に取り組む「こらぼらQでん<sup>(\*)</sup>」を九州各地で展開しています。

2019年度は、九州全域で56件の活動を行い、約5,300名もの方にご参加いただきました。

(\*)「こらぼらQでん」の活動名称は、「コラボレーション」と「ボランティア」を掛け合わせた造語です

また、2019年度からは、「こらぼらQでん」の活動のうち、生物多様性の保全や自然景観の保護等の環境分野の取組みを「こらぼらQでんeco」とし、九州全域において、地域の皆さまと一体となった環境保全活動に取り組んでいます。



岡城跡の清掃活動  
(大分県竹田市)



九電みらいの森整備活動  
(長崎県島原市)



米づくりの体験活動  
(福岡県福岡市)



鹿児島県指定天然記念物  
「オニバス」の保護活動  
(鹿児島県薩摩川内市)

「こらぼらQでん」の取組みのほか、高所作業車を活用した城壁や神社の鳥居の清掃等、九州各地で様々な清掃活動に取り組んでいます。

2019年度は、清掃活動のなかで**約76トン**の廃棄物を回収しました。これは、45Lごみ袋で**約5,700袋**にあたる量です。

## TOPICS

### 新型コロナウイルス感染拡大によりお困りの 花の生産者の皆さまを支援する活動を実施しました

九州電力(株)では、新型コロナウイルス感染拡大に伴う、切り花需要の落ち込みを踏まえ、「無駄な廃棄を少しでも減らして、花の生産者の皆さまを支援したい」との思いから、花の購入を通じて生産者の皆さまを応援する活動「フラワー✿フライデー(金曜日に花を購入し、花のある週末を過ごす取組み)」を実施しています。

2020年4月以降、九州各地において九電グループの社員を中心に呼びかけを行い、5月末までに約1,900束(約225万円)を販売し、生産者だけでなく購入に協力いただいた皆さまにも喜んでいただいています。

※このほかにも九電グループでは、新型コロナウイルス感染拡大による様々なお困りごとに対し、支援・協力を行っています。主な取組みについてはP75、76をご覧ください



## ●環境・エネルギー教育

次世代を中心に、様々な「学び」と「体験」の場を提供する環境・エネルギー教育「Qでん★みらいスクール」を展開しています。2019年度は、次世代を中心に延べ46,700名の方にご参加いただきました。今後は、大学生向け講座の新設等プログラムの充実を図ります。



	主な活動名	内 容	2019年度実績	活動の様子
講座型	エコ・マザー活動	環境について学んだお母さんたちが、「エコ・マザー」として九州各地の保育園等を訪問し、環境紙人形劇等を通じて、子どもたちに環境への配慮の大切さを伝えています。	約 200 回 約 15,900 名	
	出前授業	社員が学校等を直接訪問し、地球温暖化等の環境問題や電気をつくる仕組み等、環境やエネルギーに関する授業を行っています。	約 440 回 約 16,800 名	
体験型	きゅうでんプレイフォレスト	九州各地の森で体験型環境学習イベント「きゅうでんプレイフォレスト」を開催し、子どもたちに環境を大切にすることを学んでもらっています。	15 回 約 9,400 名	
	親子科学実験イベント	小学生の子どもたちや保護者の方々に、様々な実験・体験を通して、地球温暖化等の環境問題や電気・エネルギーに関心を持っていただくイベントを九州各地で行っています。	7 回 約 3,600 名	

## TOPICS

### 「九州電力の森」100周年記念事業の一環として、社有林「くじゅう九電の森」で記念イベントを開催しました

九電グループは、水力発電で使用する水を守るため、そして発電する際に生じるCO<sub>2</sub>を吸収させるために、長い間、森を大切にしてきました。

2019年度に育林事業が100周年を迎えたことを記念し、長年にわたってご協力いただいている地元の方々への感謝を込めて、同年10月、社有林「くじゅう九電の森」にて、「きゅうでんプレイフォレスト」を開催しました。

会場には、間ばつ<sup>(\*)</sup>や植樹、木登り等、普段は体験できないような様々なブースを出展し、来場者に、豊かな森の中で、自然の大切さを学んでいただくとともに、楽しい思い出を作っていただきました。

(\*) 森林において樹木の健全な発育を助けるために一部の木を切ること



「100周年記念モニュメント」を囲んで記念撮影



## ●九電みらい財団による環境活動

### 坊ガツル湿原での環境保全活動

くじゅう坊ガツル湿原は、大分県西部に位置し、周囲を九重連山に囲まれた高原性の湿原(約53ha)で、多様な地質・地形を反映した希少な生態系を有しています。

九州電力(株)は、坊ガツル湿原一帯の自然環境を守るため、環境省や竹田市、九重の自然を守る会等地域の方々との協働により、野焼き活動や希少植物保護活動、隣接する平治岳(社有地)のミヤマキリシマ植生保護活動を

行っており、2005年には、坊ガツル湿原が国際的に重要な湿地の保全を目的とする「ラムサール条約」に登録されました。

これらの活動は、2016年度から九電みらい財団が主体となって実施しており、現在は野焼き活動の担い手となるリーダーの育成等の充実策にも取り組んでいます。



野焼き前の坊ガツル湿原



野焼き後の一面真っ黒な坊ガツル湿原

(\*)2019年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、地元有志の方々のみで野焼き作業が実施されました。

### 社有林を活用した環境教育活動

九電みらい財団は、山下池周辺(大分県由布市)の九州電力(株)社有林「くじゅう九電の森」の豊かな自然環境を活用し、グループ会社の九州林産(株)と連携しながら、体験型の環境教育を行っており、2019年度は24回実施し、1,623名にご参加いただきました。(2016~2019年度の参加者:約5,600名)

この環境教育では、子どもたちの環境保全意識を啓発し、将来の九州の環境保全につなげることを目的として、地球温暖化の現状と森の役割を学ぶ講話と、「林業体験」「森林観察」「木工教室」等の体験を組み合わせたプログラムを実施しています。

#### 【くじゅう九電の森】での環境教育活動



林業体験



森林観察



木工教室